

平成 3 0 年度  
事 業 実 績

堺市保健所

# 目 次

		ページ
①	保健医療課	1
②	感染症対策課	19
③	食品衛生課	25
④	動物指導センター	28
⑤	環境薬務課	31
⑥	生活衛生センター	34

## 保健医療課

### 【医療機関への立入検査等】

#### ○立入検査状況

単位：箇所・%（30年度）

区分	検査対象施設数	検査実施施設数	実施率
病院	44	44	100
人工透析診療所	3	3	100
療養病床設置診療所	0	0	100
有床診療所	4	4	100

#### ○市内の診療所、助産所、歯科技工所、施術所

単位：箇所（各年.10.1現在）

年次	一般診療所			歯科診療所	助産所	歯科技工所	施術所
	施設数	有床施設数 (再掲)	病床数	施設数	施設数	施設数	施設数
29	745	26	208	474	34	105	1,178
30	748	25	189	473	35	101	1,194

(注) 1. 1年以上休止中の施設は含みません。

2. 一般診療所、歯科診療所とは、「医師又は歯科医師が医業を行う場所であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの」をいいます。施術所とは、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」および「柔道整復師法」に基づく施設をいいます。

#### ○市内の病院の病床数

単位：床・%・日（29.10月1日現在）

病院の種類	精神病院	一般病院					計
	精神	結核	精神	感染症	一般病床	療養病床	
病床数	1,867	92	880	7	5,727	3,727	12,300
病床利用率	82.5	49.5	81.8	2.2	78.5	91.3	83.0
平均在院日数	158.8	66.5	224.4	1.7	15.8	166.7	32.5

(注) 病院とは、「医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの」をいいます。1年以上休止中の施設は含みません。平成28年病院報告による数値です。

平成30年の確定値は、令和元年11月頃に厚生労働省が公表する予定です。

#### ○開設届出状況

単位：件

年度	診療所	歯科診療所	助産所	歯科技工所	施術所
29	46	16	1	5	109
30	45	21	3	1	104

○医療従事者の免許関係申請状況

単位：件

	医師	歯科医師	保健師	助産師	受胎調節 実地指導員	看護師	臨床検査技師	衛生検査技師	診療放射線技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	薬剤師	計
免許申請	38	10	22	27	11	557	19	0	22	90	33	5	74	908
書き換え	19	5	49	14	1	289	6	0	0	0	15	2	90	518
再交付	5	2	5	4	0	28	2	0	1	1	0	1	7	58
その他	6	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12
30年度計	68	21	77	45	12	875	27	0	23	121	48	8	171	1,496
29年度	81	27	58	32	10	731	45	0	35	132	33	12	190	1,386

(注) 准看護師、歯科技工士は除きます。

【医療相談】

○医療相談窓口

単位：件

年度	総件数	方式別内訳			
		電話	文書	来所	その他
29	900	851	3	45	1
30	898	848	6	43	1

○相談内容

単位：件

年度	相談件数(実数)	計	苦情・提言									相談・問い合わせ				
			小計	医療行為・医療内容	コミュニケーションに関する事	施設に関する苦情	医療情報の取扱い	うちカルテ開示	うちセカンドオピニオン	医療費(診療報酬等)	その他	小計	医療知識を問うもの	うち健康や病気に関する事	うち薬(口内)に関する事	医療機関の案内
29	900	958	609	310	125	22	35	9	7	89	28	349	136	107	15	213
30	898	979	647	321	165	16	30	5	5	73	42	332	134	110	17	198

(注) 相談・対応等内容が多岐にわたる場合有り

【医療安全研修会実施状況】

単位：人

年度	開催日	開催場所	テーマ	演題・講師	参加者数
30	5月12日 (土)	堺市役所本館 3階大会議室	診療所における患者と チームで築く医薬品安 全管理	「診療所における患者とチームで築く医薬品安全管理」 社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 部長 楠本 茂雄	95
	11月24日 (土)	堺市総合 福祉会館 6階ホール	医療小説家から見た医 療安全	「医療小説家から見た医療安全」 大阪大学医学部 招へい教授 医師・作家 久坂部 羊	83

(注) 堺市医師会と共催

【病院一覧】

(令和元年6月1日現在)

番号	名称	区	所在地	電話	診療科目	許可病床数(床)					
						一般	療養	精神	結核	感染症	計
1	医療法人朝日会 朝日会病院	堺	大仙中町 2-8	(247) -2701	内・外・リハ・放・胃・整	50	46	—	—	—	96
2	医療法人いずみ会 阪堺病院	堺	大浜北町 1-8-8	(233) -6745	内・外・リハ・放・麻・整・形・ 脳	140	—	—	—	—	140
3	医療法人サヂカム会 三国丘病院	堺	榎元町 1-5-1	(233) -1880	心内・神内・児精・精	—	—	144	—	—	144
4	医療法人淳康会 堺近森病院	堺	北清水町 2-4-1	(227) -8001	循内・人内・腎内・内・外・ 管外・循外・消外・整・リハ・ 放・歯・口外	59	—	—	—	—	59
5	医療法人慈友会 堺山口病院	堺	東湊町 6-383	(241) -3945	内・外・リハ・放・麻・胃・整	60	—	—	—	—	60
6	清恵会 三宝病院	堺	松屋町 1-4-1	(226) -8131	内・リハ・整・精	—	240	—	—	—	240
7	清恵会病院	堺	南安井町 1-1-1	(223) -8199	内・外・小・眼・神内・整・ 形・脳・心血外・呼内・腎 内・循内・消内・代内・糖 内・内内・膠内・管外・消 外・内外・乳外・精・皮・泌・ 産婦・耳・リハ・放・口外・麻	286	50	—	—	—	336
8	大阪医療刑務所病院	堺	田出井町 8-80	(228) -0145	内・外・皮・泌・眼・耳・歯・ 呼内・整・精・腎内・呼外・ 泌人・婦・放診	108	—	52	—	—	160
9	公益財団法人 浅香山病院	堺	今池町 3-3-16	(229) -4882	循内・消内・心内・神内・ 内・外・形・消外・整・ 鏡外・精・皮・泌人・婦・眼・ 耳・リハ・放・歯・麻・緩内・呼 内・腎内・糖内	223	—	804	—	—	1027
10	耳原総合病院	堺	協和町 4-465	(241) -0501	呼内・循内・消内・神内・糖 内内・内・外・緩外・呼 外・消外・心血外・整・脳・ 小精・精・小・皮・泌・ 産婦・眼・耳・リハ・放・病・ 救・口外・麻	386	—	—	—	—	386
11	堺市立重症心身障害者 (児) 支援センター	堺	旭ヶ丘中町 4-3-1	(275) -8510	内・整・小・婦・リハ	60	—	—	—	—	60
12	堺平成病院	中	深井沢町 6-13	(278) -2461	内・外・整・脳・リハ・皮・泌・ 眼・リハ・放・歯・循内・消内	60	236	—	—	—	296
13	医療法人杏和会 阪南病院	中	八田南之町 277	(278) -0381	心内・内・児精・精・小・放・ 歯・神内	—	—	690	—	—	690
14	医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院	中	深井北町 3176	(277) -1401	内・外・整・眼・リハ・放診・口 外・麻	235	734	—	—	—	969
15	医療法人藤田好生会 堺フジタ病院	中	深井沢町 3347	(279) -1170	内・外・リハ・リハ・整・麻	28	59	—	—	—	87
16	医療法人邦徳会 邦和病院	中	新家町 700-1	(234) -1331	内・外・リハ・麻・整・形・脳・ 循内・消内・消外・肛外・リ ハ・美外	60	59	—	—	—	119
17	ベルランド総合病院	中	東山500-3	(234) -2001	呼内・循内・消内・内・内代 内・脳内・外・形・呼外・心 血外・整・乳外・脳・精・ 小・皮・泌・産婦・眼・耳・ リハ・放・病・救・麻	477	—	—	—	—	477
18	南堺病院	中	大野芝町 292	(236) -3636	消内・内・外・形・消外・ 整・肛外・皮・眼・耳・リハ・ 放・麻	153	—	—	—	—	153
19	医療法人紀陽会 田仲北野田病院	東	北野田707	(235) -1055	内・外・アル・リハ・放・胃・循・ 整・皮・泌	100	—	—	—	—	100

(令和元年6月1日現在)

番号	名称	区	所在地	電話	診療科目	許可病床数(床)					
						一般	療養	精神	結核	感染症	計
20	社会医療法人顕徳会 日野病院	東	北野田626	(235) -0090	内・整・脳・リハ・放・消内・ 糖内・外・形・消外・神内	199	-	-	-	-	199
21	堺市立総合医療センター	西	家原寺町 1-1-1	(272) -1199	血内・呼内・循内・消内・ 内・外・形・整・頭頸外・ 脳・小・皮・泌・産婦・眼・ 耳・リハ・放診・放治・病・ 臨・救・口外・麻・呼外・消 外・心血外・乳内外・感 内・緩内・腎内・糖内・リハ 脳内・膠内	480	-	-	-	7	487
22	医療法人達英会 鳳胃腸病院	西	上653-1	(273) -2821	消内・鏡内・外・消外・ 鏡外・肛外・放	44	-	-	-	-	44
23	医療法人大泉会 大仙病院	西	北条町 1-2-31	(278) -2921	内・外・皮・リハ・放・胃・整・ 肛	30	-	-	-	-	30
24	社会医療法人ペガサス ペガサスリハビリ テーション病院	西	浜寺船尾町東 4-269	(265) -5577	内・リハ・神内	-	150	-	-	-	150
25	社会医療法人ペガサス 馬場記念病院	西	浜寺船尾町東 4-244	(265) -5558	内・外・泌・眼・リハ・放・ 麻・神内・呼・消・循・整・ 形・脳・皮	300	-	-	-	-	300
26	ベルピアノ病院	西	菱木 1-2343-11	(349) -6700	循内・内・外・整・リハ・放	-	192	-	-	-	192
27	医療法人錦秀会 阪和第一泉北病院	南	豊田1588-1	(295) -2888	内・整・皮・婦・眼・リハ・放・ 歯	-	1,024	-	-	-	1,024
28	医療法人恒進會 泉北陣内病院	南	豊田40	(299) -2020	内・外・ア・リハ・リハ・放・歯・ 心内・神・呼・胃・循・整・ 脳・心血外・皮泌・精・口 外・小歯	269	-	-	-	-	269
29	医療法人良秀会 泉北藤井病院	南	泉田中 3100-19	(295) -8888	循内・消内・内・整・女泌・ 泌・リハ・放	-	59	-	-	-	59
30	社会医療法人啓仁会 堺咲花病院	南	原山台 2-7-1	(295) -8833	消内・心内・神内・腎内・ 内・疼緩内・膠内・外・整・ 小・眼・耳・リハ・放・麻・血 内・脳内・精	310	-	-	-	-	310
31	医療法人以和貴会 金岡中央病院	北	中村町450	(252) -9000	内・精・歯・神	-	-	471	-	-	471
32	医療法人以和貴会 北条病院	北	百舌鳥陵南 町1-77-1	(277) -1120	呼内・消内・内・整・リハ・リ ハ・放・歯	-	237	-	-	-	237
33	医療法人杏林会 金岡病院	北	中長尾町 2-4-3	(252) -2461	内・外・放・整	-	170	-	-	-	170
34	医療法人紀和会 正風病院	北	新金岡町 5-1-3	(255) -0051	内・整・リハ・皮・リハ・放・麻・ 消内・循内	47	152	-	-	-	199
35	医療法人田中会 田中病院	北	奥本町 1-216	(251) -0005	内・リハ・整	40	80	-	-	-	120
36	医療法人方佑会 植木病院	北	黒土町 3002-5	(257) -0100	呼内・循内・消内・内・外・ 消外・整・乳外・肛外・リハ リハ・放	98	32	-	-	-	130
37	堺若葉会病院	北	新金岡町 4-1-7	(255) -1001	内・外・整・皮・泌・眼・リ ハ・放・循内・消内・人内	180	-	-	-	-	180
38	タマダ病院	北	蔵前町 2-15-39	(251) -8811	呼内・循内・消内・内・ 肛外・放	-	60	-	-	-	60

(令和元年6月1日現在)

番号	名称	区	所在地	電話	診療科目	許可病床数(床)					
						一般	療養	精神	結核	感染症	計
39	独立行政法人 国立病院機構 近畿中央呼吸器 センター	北	長曽根町 1180	(252) -3021	感内・緩内・腫内・内・外・乳 外・精・ア・リハ・放・歯・麻・心 内・呼・循・整・呼外・心 血 外・気・病	325	—	—	40	—	365
40	独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪労災病院	北	長曽根町 1179-3	(252) -3561	循内・消内・内・外・形・ 消外・心 血外・整・乳外・ 脳・精・小・皮・泌・産婦・ 眼・耳・リハ・放診・放治・病・ 歯・口外・麻・腫内	678	—	—	—	—	678
41	吉川病院	北	東三国ヶ丘 町 4-1-25	(259) -0100	内・外・産婦・リハ・放	45	45	—	—	—	90
42	医療法人暁美会 田中病院	美原	黒山39-10	(361) -3555	循内・消内・内・外・形・整・ 肛外・リハ・放・救	120	60	—	—	—	180
43	医療法人好寿会 美原病院	美原	今井380	(361) -0545	心内・内・精・歯	—	—	456	—	—	456
計						5,650	3,685	2,617	40	7	11,999

(注)・番号に□のついているものは救急病院、■は一般利用不可です。診療科目の□は救急時の診療科目です。

- ・診療科目の凡例：内…内科、外…外科、リハ…リハビリテーション科、放…放射線科、呼…呼吸器科、胃…胃腸科、  
整…整形外科、麻…麻酔科、形…形成外科、脳…脳神経外科、心内…心療内科、神内…神経内科、  
児精…児童精神科、精…精神科、循内…循環器内科、人内…人工透析内科、腎内…腎臓内科、  
管外…血管外科、循外…循環器外科、消外…消化器外科、歯…歯科、口外…歯科口腔外科、  
小…小児科、婦…婦人科、眼…眼科、消…消化器科、循…循環器科、心血外…心臓血管外科、  
皮…皮膚科、泌…泌尿器科、耳…耳鼻咽喉科、神…神経科、肛…肛門科、  
消内…消化器内科、鏡外…内視鏡外科、泌人…泌尿器科(人工透析)、血内…血液内科、  
呼内…呼吸器内科、頭頸外…頭頸部外科、産婦…産婦人科、放診…放射線診断科、  
放治…放射線治療科、救…救急科、糖内内…糖尿病・内分泌内科、緩外…緩和ケア外科、  
呼外…呼吸器外科、小精…小児精神科、病…病理診断科、リウマチ科、  
内代内…内分泌・代謝内科、乳外…乳腺外科、肛外…肛門外科、ア…アレルギー科、  
皮泌…皮膚泌尿器科、鏡内…内視鏡内科、女泌…女性泌尿器科、緩内…緩和ケア内科、  
腫内…腫瘍内科、内糖内…内分泌・糖尿病内科、感内…感染症内科、気…気管食道科、  
代内…代謝内科、糖内…糖尿病内科、内内…内分泌内科、膠内…膠原病内科、  
内外…内分泌外科、乳内外…乳腺・内分泌外科、小歯…小児歯科、疼緩内…疼痛緩和内科、  
脳内…脳神経内科、美外…美容外科



## 【厚生統計業務】

### ○人口動態総覧

		実数		率 (注)	
		平成29年	平成28年	平成29年	平成28年
人 口 (各年 10月1日現在推計)		834,267	837,603		
出 生		6,366	6,844	7.6	8.2
低体重出生児 (2500g未満)		609	659	95.7	96.3
死 亡		8,325	7,951	10.0	9.5
乳児死亡		10	9	1.6	1.3
新生児死亡 (生後4週未満)		4	4	0.6	0.6
自然増加		-1,959	-1,107	-2.3	-1.3
死産	自 然	51	58	7.9	8.3
	人 工	56	80	8.7	11.5
	小 計	107	138	16.5	19.8
周産期死亡	後期死産 (妊娠22週以後の死産)	10	15	1.6	2.2
	早期新生児死亡 (生後 1 週未満の死亡)	4	3	0.6	0.4
	小 計	14	18	2.2	2.6
婚 姻		3,997	4,135	4.8	4.9
離 婚		1,603	1,633	1.92	1.95

(注)

- 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 平成30年の確定値は、令和元年9月頃に厚生労働省が公表する予定です。

	平成29年	平成28年
合計特殊出生率	1.43	1.50

○平成30年の値は、国が同年の人口動態統計を確定後に、算出・公表します。

○死因順位別 死亡数・死亡率(人口10万対)

死因	平成29年				平成28年			
	死因 順位	死亡数	死亡率	死亡総数 に占める 割合(%)	死因 順位	死亡数	死亡率	死亡総数に 占める割合 (%)
	総数							
全死因		8,325	998.2	100.0		7,951	948.8	100.0
悪性新生物	1	2,527	303.0	30.4	1	2,528	301.7	31.8
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,282	153.7	15.4	2	1,173	140.0	14.8
肺炎	3	698	83.7	8.4	3	857	102.3	10.8
脳血管疾患	4	598	71.7	7.2	4	567	67.7	7.1
老衰	5	454	54.4	5.5	5	373	44.5	4.7
誤嚥性肺炎	6	269	32.3	3.2			0.0	0.0
不慮の事故	7	224	26.9	2.7	6	215	25.7	2.7
腎不全	8	185	22.2	2.2	7	165	19.7	2.1
肝疾患	9	143	17.1	1.7	8	134	16.0	1.7
慢性閉塞性肺疾患	10	141	16.9	1.7	9	122	14.6	1.5
	男							
全死因		4,438	1,112.3	100.0		4,198	1,046.9	100.0
悪性新生物	1	1,511	378.7	34.0	1	1,512	377.1	36.0
心疾患(高血圧性を除く)	2	632	158.4	14.2	2	581	144.9	13.8
肺炎	3	364	91.2	8.2	3	447	111.5	10.6
脳血管疾患	4	312	78.2	7.0	4	280	69.8	6.7
誤嚥性肺炎	5	155	38.8	3.5			0.0	0.0
不慮の事故	6	119	29.8	2.7	5	118	29.4	2.8
慢性閉塞性肺疾患	6	119	29.8	2.7	7	89	22.2	2.1
老衰	8	105	26.3	2.4	10	74	18.5	1.8
肝疾患	9	93	23.3	2.1	8	84	20.9	2.0
自殺	10	88	22.1	2.0	6	91	22.7	2.2
	女							
全死因		3,887	893.6	100.0		3,753	860.8	100.0
悪性新生物	1	1,016	233.6	26.1	1	1,016	233.0	27.1
心疾患(高血圧性を除く)	2	650	149.4	16.7	2	592	135.8	15.8
老衰	3	349	80.2	9.0	4	299	68.6	8.0
肺炎	4	334	76.8	8.6	3	410	94.0	10.9
脳血管疾患	5	286	65.7	7.4	5	287	65.8	7.6
誤嚥性肺炎	6	114	26.2	2.9			0.0	0.0
腎不全	7	108	24.8	2.8	7	87	20.0	2.3
不慮の事故	8	105	24.1	2.7	6	97	22.2	2.6
高血圧性疾患	9	52	12.0	1.3	9	41	9.4	1.1
肝疾患	10	50	11.5	1.3	14	31	7.1	0.8

○平成30年の確定値は、令和元年年9月頃に厚生労働省が公表する予定です。

○「誤嚥性肺炎」は、平成29年より死因順位に用いる分類項目に追加されました。

○基幹統計及び一般統計調査(平成30年度実施分)

調査名	調査目的	調査時期	調査対象	調査周期
国民生活基礎調査 (親標本調査)	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、後続調査の調査客体を抽出するための親標本を設定するために行う。	準備調査、4月下旬 世帯票調査、6月上旬 所得票調査、7月中旬	8地区 387世帯	毎年
全国家庭動向調査	家庭動向を全国規模で把握しうる唯一の大調査として、他の公式統計では捉えることのできない「出産・子育て」、「老親の扶養・介護」をはじめとする家庭機能の実態、変化要因を把握し、社会サービス施策の重要性が高まるなかで少子高齢化、とりわけ少子化への対応の基本的方向性を示し、厚生労働行政施策立案の基礎資料を提供することを目的とする。	7月	2地区 106世帯	5年
医師・歯科医師・ 薬剤師調査	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名(薬剤師を除く。)等による分布を明らかにし、厚生労働行政の基礎資料を得る。	1月上旬	我が国に住所を 有する医師・ 歯科医師・薬剤師	2年

## 【公害による健康被害者の認定事業】

### ○認定状況

単位：人

区分 年度	認 定		失 効					年度末現在 被認定者
	新規認定	転 入	転 出	死 亡	全治・辞退	未更新 による 期間満了	更新否決	
29	-	1	1	40	0	6	0	1,270
30	-	2	0	46	0	25	0	1,201
累計	6,247	281	211	3,456	55	1,592	13	

### ○疾病別状況

単位：人

対象疾病 年度	慢性気管支炎			気管支ぜん息			肺気腫			計		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	計
29	51	154	205	477	572	1,049	8	8	16	536	734	1,270
30	48	141	189	449	551	1,000	5	7	12	502	699	1,201

## 【被認定者に対する給付事業】

### ○補償給付状況

単位：件・円

年度	区分	医療費	療養手当	障害補償費	遺族補償費	遺族補償 一時金	葬祭料	計
29	件数	22,904	7,894	12,059	656	4	10	41,527
	金額	529,811,660	185,266,200	874,469,590	81,671,100	11,860,200	3,803,000	1,686,881,750
30	件数	19,159	7,368	11,670	632	2	5	38,836
	金額	504,169,654	173,690,200	855,116,320	76,036,175	10,665,000	2,177,250	1,621,854,599

## 【公害保健福祉事業】

### ○呼吸器教室実施状況

単位：回・人

年度	実施場所	実施回数	参加人数
29	保健医療課	3	24
30		3	12

### ○吹き矢教室実施状況

単位：回・人

年度	実施場所	実施回数	参加人数
29	保健医療課	3	16
30		3	18

## ○ヨガ教室実施状況

単位：回・人

年度	実施場所	実施回数	参加人数
29	保健医療課	2	11
30		2	11

## ○家庭療養指導実施状況

単位：人・件

年度	対象者数	訪問件数
29	1,007	1,126
30	934	1,069

## ○インフルエンザ予防接種費用助成事業実施状況

単位：人・円

年度	対象者数	接種者数	助成金額
29	1,265	573	1,209,958
30	1,224	532	1,266,232

## 【環境保健事業】

## ○呼吸器疾患相談実施状況

単位：回・人

年度	実施場所	実施回数	参加人数
29	保健医療課	5	19
30		4	13

## ○ぜん息児健康回復キャンプ実施状況

単位：人

年度	実施場所	内容	参加人数	
			中学生	小学生
29	YMCA阿南国際海洋センター	3泊4日のキャンプ	3	16
30		3泊4日のキャンプ	1	19

## ○ぜん息児水泳訓練教室実施状況

単位：回・日・人

年度	実施場所	開催回数	開催日数	参加人数
29	マックススポーツ堺一条 / コナミスポーツクラブ新金岡	2	7	145
30		2	8	125

※平成29年度は、台風による中止のため全7日の開催。

## 【石綿（アスベスト）検診】

単位：人

年度	実施場所	受診者数
29	近畿中央胸部疾患センター 耳原総合病院	45
30	堺市立総合医療センター	47

【難病患者の保健福祉事業】

○特定医療費(指定難病)受給者証交付状況(平成31年3月31日時点)

単位:人

疾病名		年度	30	疾病名		年度	30
1	球脊髄性筋萎縮症		8	53	シェーグレン症候群		104
2	筋萎縮性側索硬化症		77	54	成人ステル病		24
3	脊髄性筋萎縮症		2	55	再発性多発軟骨炎		2
4	原発性側索硬化症		1	56	ベーチェット病		108
5	進行性核上性麻痺		66	57	突発性拡張型心筋症		177
6	パーキンソン病		921	58	肥大型心筋症		32
7	大脳皮質基底核変性症		26	59	拘束型心筋症		0
8	ハンチントン病		10	60	再生不良性貧血		62
9	神経有棘赤血球症		2	61	自己免疫性溶血性貧血		6
10	シャルコー・マリー・トゥース病		0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症		3
11	重症筋無力症		163	63	突発性血小板減少性紫斑病		136
12	先天性筋無力症候群		0	64	血栓性血小板減少性紫斑病		0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎		139	65	原発性免疫不全症候群		14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー		17	66	IgA腎症		74
15	封入体筋炎		3	67	多発性嚢胞腎		59
16	クローウ・深瀬症候群		1	68	黄色靱帯骨化症		36
17	多系統萎縮症		72	69	後縦靱帯骨化症		295
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)		173	70	広範脊柱管狭窄症		36
19	ライソゾーム病		11	71	特発性大腿骨頭壊死症		126
20	副腎白質ジストロフィー		1	72	下垂体性ADH分泌異常		15
21	ミトコンドリア病		10	73	下垂体性TSH分泌亢進症		0
22	もやもや病		97	74	下垂体性PRL分泌亢進症		9
23	プリオン病		2	75	クッシング病		6
24	亜急性硬化性全脳炎		0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症		0
25	進行性多巣性白質脳症		0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		26
26	HTLV-1関連脊髄症		8	78	下垂体前葉機能低下症		304
27	特発性基底核石灰化症		2	79	家族性高コレステロール血症(転接合体)		5
28	全身性アミロイドーシス		9	80	甲状腺ホルモン不応症		0
29	ウルリッヒ病		0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症		2
30	遠位型ミオパチー		0	82	先天性副腎低形成症		0
31	ベスレムミオパチー		0	83	アジソン病		4
32	自己食空胞性ミオパチー		0	84	サルコイドーシス		128
33	シュワルツ・ヤンペル症候群		0	85	特発性間質肺炎		104
34	神経線維腫症		34	86	肺動脈性肺高血圧症		30
35	天疱瘡		25	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症		0
36	表皮水泡症		3	88	慢性血栓性肺高血圧症		23
37	膿疱性乾癬(汎発型)		18	89	リンパ管筋腫症		7
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群		2	90	網膜色素変性症		206
39	中毒性表皮壊死症		0	91	バッド・キアリ症候群		1
40	高安動脈炎		43	92	特発性門脈圧亢進症		2
41	巨細胞性動脈炎		13	93	原発性胆汁性肝硬変		104
42	結節性多発動脈炎		20	94	原発性硬化性胆管炎		3
43	顕微鏡的多発血管炎		92	95	自己免疫性肝炎		36
44	多発血管炎性肉芽腫症		24	96	クローン病		281
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		33	97	潰瘍性大腸炎		902
46	悪性関節リウマチ		30	98	好酸球性消化管疾患		3
47	パージャール病		21	99	慢性特発性偽性腸閉塞症		0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群		5	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症		0
49	全身性エリテマトーデス		488	101	腸管神経節細胞減少症		0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎		189	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群		0
51	全身性強皮症		175	103	CFC症候群		0
52	混合性結合組織病		66	104	コストロ症候群		0

年度		30	年度		30
疾病名			疾病名		
105	チャージ症候群	0	155	ランドウ・クレフナー症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	156	レット症候群	0
107	全身型若年性特発性関節炎	4	157	スタージ・ウェーバー症候群	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	1	158	結節性硬化症	5
109	非典型溶血性尿毒症症候群	1	159	色素性乾皮症	2
110	ブラウ症候群	0	160	先天性魚鱗癬	1
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	24
113	筋ジストロフィー	37	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	2	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	7
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER 症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	2	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	8	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	2	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATRX 症候群	1
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモリア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	5	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	1	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36 欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p 欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p 欠失症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	1
152	PCDH19 関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2 欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0

年度		30	年度		30
疾病名			疾病名		
205	脆弱X症候群関連疾患	0	257	肝型糖原病	3
206	脆弱X症候群	0	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
207	総動脈幹遺残症	0	259	レチンコレステロールシトランスフェラーゼ欠損症	0
208	修正大血管転位症	0	260	シトステロール血症	0
209	完全大血管転位症	1	261	タンジール病	0
210	単心室症	2	262	原発性高カイロミクロン血症	0
211	左心低形成症候群	0	263	脳腱黄色腫症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	264	無βリポタンパク血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	265	脂肪萎縮症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	266	家族性地中海熱	2
215	ファロー四徴症	2	267	高IgD症候群	0
216	両大血管右室起始症	1	268	中條・西村症候群	0
217	エプスタイン病	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
218	アルポート症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
219	ギャロウェイ・モト症候群	0	271	強直性脊椎炎	26
220	急速進行性糸球体腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
222	一次性ネフローゼ症候群	78	274	骨形成不全症	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
224	紫斑病性腎炎	6	276	軟骨無形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	6	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
227	オスラー病	2	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
228	閉塞性細気管支炎	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	5	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	0
230	肺胞低換気症候群	1	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	283	後天性赤芽球癆	0
232	カーニー複合	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
233	ウォルフラム症候群	0	285	ファンコニ貧血	0
234	ヘルマキソム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	287	エプスタイン症候群	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	288	自己免疫性出血病XIII	3
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	291	ヒルシュフェルド病(全結腸型又は小腸型)	0
240	フェニルケトン尿症	3	292	総排泄腔外反症	0
241	高チロシン血症1型	0	293	総排泄腔遺残	0
242	高チロシン血症2型	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
243	高チロシン血症3型	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
244	メープルシロップ尿症	0	296	胆道閉鎖症	2
245	プロピオン酸血症	0	297	アラジール症候群	0
246	メチルマロン酸血症	1	298	遺伝性膀胱炎	0
247	イソ吉草酸血症	0	299	嚢胞性線維症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	300	IgG4関連疾患	18
249	グルタル酸血症1型	0	301	黄斑ジストロフィー	0
250	グルタル酸血症2型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
251	尿素サイクル異常症	0	303	アッシュャー症候群	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
254	ポルフィリン症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	42
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	307	カナバン病	0
256	筋型糖原病	0	308	進行性白質脳症	0



疾病名		年 度
		30
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺動脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群） LMX1B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	1
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（RS）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシ トール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症性疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因による ものに限る。）	1
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症	0
331	多発性多中心性キャッスルマン病	7
計		6951

複数疾病込の支給認定件数。受給者証交付者（実人数）は 6648 人

○難病患者に対する面接・訪問状況(実) 単位：人

年度	面接	訪問
29	1,011	203
30	1,169	243

○学習会・交流会実施状況

単位：回・人

年度	29				30			
	学習会		交流会		学習会		交流会	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
筋萎縮性側索硬化症	0	0	2	12	0	0	3	40
パーキンソン病	1	58	1	58	1	34	0	0
脊髄小脳変性症	1	31	1	31	1	19	1	19
高安動脈炎・結節性多発動脈炎・顕微鏡的多発血管炎	0	0	2	6	0	0	0	0
膠原病	0	0	0	0	1	13	0	0
全身性エリテマトーデス	1	12	1	12	0	0	1	3
全身性強皮症	0	0	1	8	1	11	1	7
特発性血小板減少性紫斑病	0	0	1	9	0	0	0	0
血液難病(H30:再生不良性貧血)	0	0	0	0	0	0	1	3
IgA腎症	0	0	1	3	0	0	0	0
後縦靭帯骨化症	0	0	1	15	1	16	1	16
サルコイドーシス	0	0	1	13	0	0	0	0
特発性間質性肺炎	0	0	1	8	1	14	1	14
原発性胆汁性肝硬変	0	0	1	4	0	0	0	0
クローン病	0	0	1	6	1	15	1	15
潰瘍性大腸炎	1	26	1	26	0	0	1	4
潰瘍性大腸炎・クローン病	0	0	0	0	0	0	0	0
網膜色素変性症	0	0	1	31	0	0	1	15
特発性大腿骨頭壊死	1	7	1	7	0	0	0	0
ベーチェット病	1	16	1	16	0	0	1	5
重症筋無力症	1	11	1	11	0	0	1	0
多発性硬化症					1	10	1	10
皮膚筋炎/多発性筋炎					1	17	1	17
特発性拡張型心筋症					0	0	1	4
小児慢性特定疾病	2	45	2	16	2	41	8	83
全疾病	8	94	13	192	5	77	14	179
その他	0	0	5	14	0	0	3	15
合計	17	300	40	498	16	267	42	449

○ホームヘルパー養成研修実施状況 単位：回・人

年度	29	30
研修開催回数	1	1
研修参加人数	54	50

## 【小児慢性特定疾病事業】

### ○小児慢性特定疾病医療費給付状況

年 度		29		30	
区 分		給付人数	延診療 日 数	給付人数	延診療 日 数
悪性新生物	入 院	36	1,416	33	2,547
	通 院	78	1,026	67	1,345
慢性腎疾患	入 院	13	317	16	341
	通 院	56	570	60	777
慢性呼吸器 疾患	入 院	20	1,252	18	754
	通 院	5	641	10	863
慢性心疾患	入 院	50	1,285	77	1,377
	通 院	138	1,683	105	2,510
内分泌疾患	入 院	11	175	13	231
	通 院	229	1,733	213	2,081
膠原病	入 院	4	41	5	137
	通 院	20	264	16	354
糖尿病	入 院	2	4	3	44
	通 院	43	461	44	683
先天性代謝 異常	入 院	11	383	7	94
	通 院	17	336	25	440
血液疾患	入 院	3	30	5	18
	通 院	20	217	18	329
免疫疾患	入 院	1	5	1	28
	通 院	4	48	4	61
神経・筋疾患	入 院	49	1,334	54	2,018
	通 院	94	3,516	80	4,445
慢性消化器 疾患	入 院	16	220	22	506
	通 院	29	504	29	556
染色体又は遺伝子 に変化を伴う 症候群	入 院	15	457	16	726
	通 院	12	1,175	22	1,698
皮膚疾患	入 院	1	14	1	8
	通 院	2	45	2	41
骨系統疾患	入 院	-	-	3	39
	通 院	-	-	8	64
脈管系疾患	入 院	-	-	2	18
	通 院	-	-	1	18
計		979	19,152	980	25,151

### ○保健指導状況

単位：件

年 度	電話相談	所内相談	訪問指導
29	411	174	140
30	409	180	117

**【原子爆弾被爆者健康診断事業】**

○原子爆弾被爆者健康診断実施状況

単位：人・%

年度	区分	対象者数	受診者数	受診率	要精密検査者数	要精密検査率
29	春	502	155	30.9	2	1.3
	秋	516	128	24.8	3	2.3
	計	1,018	283	27.8	5	1.8
30	春	487	131	26.9	1	0.8
	秋	492	112	22.8	0	0.0
	計	979	243	24.8	1	0.4

**【骨髄移植普及促進事業】**

○献血併行型ドナー登録会の実施 単位：回・人

年度	実施回数	登録人数
29	11	118
30	34	363

## 感染症対策課

### 【結核予防関係事業】

○結核登録患者数

単位：人（29年）

区 分	活 動 性 結 核								不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	計	潜在性 結核	
	肺結核活動性						肺 外 結 核 活 動 性	小 計				治 療 中	観 察 中
	喀痰塗抹陽性			結 核 菌 陽 性 の 他 の	菌 陰 性 の 他 の	小 計							
	初 回 治 療	再 治 療	小 計										
新規登録	62	2	64	33	7	104	34	138	-	-	138	58	-
年末現在	46	3	49	21	5	75	25	100	111	120	331	35	46

単位：人（30年）

区 分	活 動 性 結 核								不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	計	潜在性 結核	
	肺結核活動性						肺 外 結 核 活 動 性	小 計				治 療 中	観 察 中
	喀痰塗抹陽性			結 核 菌 陽 性 の 他 の	菌 陰 性 の 他 の	小 計							
	初 回 治 療	再 治 療	小 計										
新規登録	65	2	67	47	13	127	29	156	-	-	156	53	-
年末現在	56	1	57	33	11	101	25	126	117	90	333	35	52

(注) まん延を防止するため、感染症診査協議会（結核診査部会）で審査し、周囲に感染させるおそれが高いと判断された人について、期間を定めて就業制限及び入院勧告の措置を講じています。

○肺がん・結核検診（旧：市民検診）受診状況

単位：人・%

年度	直接撮影 (間接撮影)	判定結果		精密検査 受診者数	精密検査 受診率	精密検査判定結果		
		異常なし	要精密 検査			異常なし	結核	要観察・他疾患等
29	6,202	6,058	144	112	77.8	48	2	62
30	5,715	5,563	152	101	66.4	47	7	47

(注) 平成23年度より、市民検診は「肺がん・結核検診」に名称が変更になりました。

○患者家族、接触者健診受診状況（直後～2か月後実施分）

単位：人

年	受診者	検診内容（延）			判 定 結 果		
		ツベルクリ 反応検査	IGRAs 検査	直接撮影	異常なし	結核	結核発病 のおそれ
30	720	7	664	329	681	4	35(14)

(注) ( ) 内は潜在性結核患者（結核医療を要する無症状病原体保有者）で内数です。

○患者管理検診実施状況

単位：人

年度	受診者	判定結果			
		異常なし	要医療	要観察	その他
29	173	92	1	74	6
30	166	81	0	83	2

○地域DOTS実施状況

単位：件・回

年度	支援方法	DOTSナース登録者数 /薬局・医療機関 DOTS協力施設数	服薬確認 延回数
29	訪問DOTS	7	13
	薬局DOTS	88	189
	医療機関外来DOTS	—	—
30	訪問DOTS	6	5
	薬局DOTS	87	104
	医療機関外来DOTS	1	21

(注) 訪問DOTSは登録DOTSナースによる訪問のみ掲載

○医療費公費負担実績

単位：件・円

年度	区分	一般患者医療費			入院勧告患者医療費			計
		医療費	療養費	小計	医療費	療養費	小計	
29	件数	2,273	—	2,273	215	—	215	2,488
	金額	5,954,882	—	5,954,882	24,314,092	—	24,314,092	30,268,974
30	件数	2,326	—	2,326	242	—	242	2,568
	金額	6,804,388	—	6,804,388	34,835,600	—	34,835,600	41,639,988

○結核対策特別促進事業実施状況

単位：回・人

	種別	指定医療機関 講習会	ハイリスク者検診
29	実施回数	1	3
	参加人数	129	98
30	実施回数	1	4
	参加人数	53	130

## 【予防接種関係事業】

### ○予防接種実施状況

単位：人・%

種類	実施機関	接種対象年齢	接種区分	対象者数	接種者数	30年度 接種率	29年度 接種率	
DPT-IPV四種混合 (ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)	委託医療機関	生後3～90月未満	1期	初回	19,038	19,125	100.5	99.6
				追加	6,459	6,614	102.4	98.2
DT二種混合 (ジフテリア、破傷風)	委託医療機関	11～13歳未満	2期	8,003	6,850	85.6	82.3	
麻しん(はしか) ・風しん混合	委託医療機関	生後12～24月未満	1期	6,541	6,395	97.8	98.2	
		5～7歳未満で、 小学校就学日の1年前から 就学日前日までの間	2期	7,118	6,792	95.4	93.7	
日本脳炎	委託医療機関	生後6～90月未満	1期	初回	13,920	14,740 (15,929)	105.9	102.5
				追加	7,118	6,370 (7,771)	89.5	91.1
		9～13歳未満	2期	7,707	6,957 (8,720)	90.3	73.9	
BCG	保健センター	1歳未満	—	6,404	6,348 (6,369)	99.1	100.5	
インフルエンザ (H30.10.21～H31.3.31)	委託医療機関	65歳以上	—	232,977	108,087	46.4	45.5	
ヒブ	委託医療機関	生後2月～5歳未満	初回	19,200	18,919	98.5	98.9	
			追加	6,422	6,333	98.6	95.1	
小児用肺炎球菌	委託医療機関	生後2月～5歳未満	初回	19,200	18,988	98.9	99.1	
			追加	6,422	6,329	98.6	94.6	
子宮頸がん予防	委託医療機関	小学6年生～高校1年生 に相当する年齢の女子	1回目	10,017	255	2.5	1.1	
			2回目					
			3回目					
水痘	委託医療機関	生後12月～36月未満	1回目	12,772	12,582	98.5	91.9	
			2回目					
B型肝炎	委託医療機関	1歳未満	1回目	19,200	18,701	97.4	100.6	
			2回目					
			3回目					

種類	実施機関	接種対象年齢	接種区分	対象者数	接種者数	30年度接種率	29年度接種率
高齢者の肺炎球菌 (定期接種)	委託医療機関	年度中に65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳となる者	—	52,845	3,811	7.2	9.6
高齢者の肺炎球菌 (任意接種)	委託医療機関	65歳以上の 定期接種対象者以外の者	—	180,132	6,180	3.4	3.1

(注)

- 「接種対象者数」については、標準的な接種年齢期間の対象者数を計上しているのに対し、「接種者数」は、その年齢とは異なる年齢の者も含め、実際に接種した者を延べ人数で計上している。
- 日本脳炎は、平成23年5月20日付、予防接種法施行令の改正により、平成17年度から平成21年度にかけて、日本脳炎の予防接種の積極的勧奨を差し控えたことにより、接種を受ける機会を逸した者(平成7年6月1日から平成21年10月1日までの間に生まれた者)に対し、不足している回数分を定期接種(特例措置)として実施。( )内は特例措置による接種者数を含む。
- BCG予防接種は結核まん延状況を勘案し、4歳未満まで全額公費負担による実施(1歳から4歳未満は任意接種)。( )内は任意接種を含む。
- インフルエンザの接種者数は、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障害者手帳1級程度の障害を持つ60～65歳未満の接種者を含む。また、平成29年度は、ワクチンの供給遅れに伴い平成30年1月31日までの実施期間を平成30年3月31日まで延長。
- 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月から積極的な勧奨を一時中止している。
- 高齢者の肺炎球菌予防接種接種者数は、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能に障害者手帳1級程度の障害を持つ60～65歳未満の接種者を含む。また、65歳以上で定期接種の対象に該当しない者(任意接種)に対し、市独自の公費助成事業を実施。

#### ○風しん5期の抗体検査及び予防接種実施状況(平成31年3月25日より実施)

単位：人

年度	抗体検査受検者数	抗体検査を受けた結果		予防接種接種者数
		十分な量の抗体		
		ない	ある	
30	19	8	11	1

(注)

- 予防接種法施行令の改正により、令和4年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性を、風しんに係る定期の予防接種の対象者として追加することが規定された。ただし、風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体があることが判明し、予防接種を行う必要がないと認められる者は除く。
- 上記の予防接種法施行令の改正により、平成31年3月25日より抗体検査及び予防接種を実施。



## 【感染症対策関係事業】

### ○エイズ予防HIV検査実施状況

単位：人

年 度	受検者数	保健センター		保健所		
		昼間	夜間	昼間	夜間	休日
29	731	524	22	35	55	95
30	1,168	888	20	41	62	157

(注) 保健所の「昼間」・「休日」は、即日検査です。なお、昼間の即日検査は平成28年度より実施。

### ○肝炎ウイルス検査実施状況

単位：人

年 度	受検者数	C型肝炎判定結果		B型肝炎判定結果	
		感染の疑い		陽性	陰性
		極めて高い	極めて低い		
29	5,644	42	5,602	33	5,611
30	6,568	29	6,539	34	6,534

### ○感染症発生動向調査状況（全数把握）

単位：件

類型	名 称	29年	30年
3類	腸管出血性大腸菌感染症	27	12
	細菌性赤痢	—	3
4類	レジオネラ症	7	13
	デング熱	4	—
	A型肝炎	—	1
	ライム病	—	1
	コクシジオイデス症	—	1
5類	アメーバ赤痢	16	5
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	—	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5
	後天性免疫不全症候群	18	4
	侵襲性インフルエンザ菌	6	9
	侵襲性髄膜炎菌	1	1
	侵襲性肺炎球菌	27	32
	梅毒	28	58
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	12	52
	水痘（入院例に限る）	2	1
	破傷風	—	1
	麻しん	1	—
	風しん	—	7
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	—
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	2
百日咳	—	35	
計		151	245

(注1) これは市内の医療機関から報告があった件数であり、本市民とは限りません。

(注2) 百日咳は平成30年1月1日より全数把握に指定されました。

○感染症発生動向調査状況（定点把握）

単位：件

類型	名 称	29年	30年	類型	名 称	29年	30年
5 類	インフルエンザ	7,029	8,499	5 類	急性出血性結膜炎	8	11
	RSウイルス	797	896		流行性角結膜炎	98	210
	咽頭結膜熱	296	360		細菌性髄膜炎	5	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,506	2,288		無菌性髄膜炎	27	14
	感染性胃腸炎	2,382	2,838		マイコプラズマ肺炎	58	30
	水痘	196	219		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2	1
	手足口病	1431	303		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	57	42
	伝染性紅斑	12	59		性器クラミジア感染症	252	206
	突発性発しん	233	260		性器ヘルペスウイルス感染症	94	108
	百日咳	10	-		尖形コンジローマ	81	68
	ヘルパンギーナ	334	312		淋菌感染症	123	105
	流行性耳下腺炎	225	83		計	15,256	16,917

(注) これは市内の医療機関から報告があった件数であり、本市民とは限りません。

○感染症媒介蚊の調査

単位：匹

種類 年度	アカイエカ群	コガタアカイエカ	ヒトスジシマカ	その他	計
29	698	88	453	3	1,242
30	355	7	409	1	772

デングウイルス・ウエストナイルウイルス・ジカウイルス・日本脳炎ウイルス等のウイルスが属するフラビウイルス属は検出されませんでした。

○風しん感染予防対策事業

種類	実施機関	接種対象	接種者数	
			MR	風しん 単抗原
麻しん風しん混合(MR) 又は風しんワクチン	委託 医療機関	風しん抗体価が基準値に満たない ① 妊娠を希望する女性 ② 妊娠を希望する女性の配偶者 ③ 妊娠している女性の配偶者	1235	835

# 食 品 衛 生 課

## 【許可業務】

○営業許可等の状況（食品衛生法に基づくもの）

単位：件

年度	新規許可	更新許可	廃業	無許可指導	施設数
29	1,240	1,299	1,537	4	12,420
30	1,268	1,036	1,116	2	12,572

○営業許可等の状況（ふぐ処理業）

単位：件

年度	新規許可	更新許可	廃業	無許可指導	施設数
29	26	-	50	0	484
30	40	-	29	0	495

(注) 平成30年度の新規許可には、条例改正に伴う販売業(処理なし)からの移行分30件を含む

## 【監視指導業務】

○食品営業施設監視状況（許可を要する施設）

単位：件・%（H30年度）

業 種	施設数	監視件数	監視率	処分件数
飲食店営業	7,515	2,202	29	2
菓子製造業	815	444	54	0
乳処理業	2	2	100	0
乳製品製造業	9	9	100	0
魚介類販売業	621	444	71	0
魚肉ねり製品製造業	12	7	58	0
食品の冷凍又は冷蔵業	18	10	56	0
缶詰又は瓶詰食品製造業	10	4	40	0
喫茶店営業	1,161	396	34	0
あん類製造業	5	4	80	0
アイスクリーム類製造業	82	46	56	0
乳類販売業	1,326	532	40	0
食肉処理業	63	42	67	0
食肉販売業	695	428	62	0
食肉製品製造業	4	5	125	0
乳酸菌飲料製造業	1	0	0	0
食用油脂製造業	7	7	100	0
マーガリン又はショートニング製造業	1	3	300	0
みそ製造業	5	0	0	0
醤油製造業	4	4	100	0
ソース類製造業	8	7	88	0
酒類製造業	4	0	0	0
豆腐製造業	28	16	57	0
めん類製造業	20	11	55	0
そうざい製造業	107	80	75	0
添加物製造業	29	6	21	0
清涼飲料水製造業	7	7	100	0
氷雪製造業	1	1	100	0
氷雪販売業	12	0	0	0
計	12,572	4,717	38	2

(注) 施設数は各年度3月末現在。監視率＝監視件数／施設数

## ○食品営業施設監視状況（ふぐ処理業）

単位：件

年度	施設数	監視施設数	処分件数
29	484	445	0
30	495	587	0

(注) 施設数は各年度2月末現在。

## ○食品営業施設監視状況（集団給食施設：許可を要する施設及び許可を要しない施設）

単位：件・%（H30年度）

業種		施設数	監視件数	監視率	処分件数
集団給食施設	学校	144	117	81	0
	病院診療所	53	47	89	0
	事業所	210	98	47	0
	その他	518	458	88	0
計		925	720	78	0

## ○食品営業施設監視状況（許可を要しない施設）

単位：件・%（H30年度）

業種	施設数	監視件数	監視率	処分件数
乳さく取業	12	0	0	0
食品製造業	368	25	7	0
野菜・果物販売業	969	271	28	0
そうざい販売業	396	254	64	0
菓子販売業	1,508	256	17	0
食品販売業（上記以外）	2,087	275	13	0
添加物の販売業	155	253	163	0
器具・容器包装、おもちゃの製造販売業	270	244	90	0
計	5,765	1,578	27	0

(注) 施設数は各年度3月末現在。監視率＝監視件数／施設数

## ○収去検査状況

単位：件

年度	検体数	検査項目数	不適・不良数
29	372	2,672	不良3
30	379	2,633	不適1・不良5

## ○食鳥検査状況

単位：件・羽

年度	施設数		処理羽数	廃棄数
	検査対象施設	小規模処理施設		
29	0	13(0)	58,864	1
30	0	12(0)	59,673	1

(注) ( ) 内は成鳥処理施設で内数

## 【食品衛生普及啓発業務】

○講習会開催状況

単位：回・人

対 象	事業者		学生・園児		一般		計	
	29	30	29	30	29	30	29	30
開催回数	12	11	4	4	32	19	48	34
参加人数	1,254	903	433	464	1,392	497	3,079	1,864

## 【食中毒発生状況】

単位：人（H30年1月～12月）

番号	発生日	原因施設	原因食品	病因物質 (型別等)	摂食者数	患者数	死者数	概 要
1	3月24日	家庭	ムラサキイガイ(推定)	麻痺性貝毒	3	3	0	<p>市内の医療機関より、麻痺性貝毒による食中毒を疑う患者が入院している旨の届出があった。</p> <p>調査の結果、患者らは大阪湾でムラサキイガイを採取し、自宅で調理し喫食していたことが判明した。</p> <p>患者の尿中から麻痺性貝毒が検出されたこと、患者の症状が麻痺性貝毒の症状と一致していることから、食中毒と断定した。</p>
2	4月1日	飲食店 営業	不明(3月31日に提供された食事)	カンピロバクター・ジェジュニ	14	8	0	<p>市民から、市内飲食店で会食したところ、複数名が食中毒様症状を呈している、との届出があった。</p> <p>調査したところ、患者らの共通食は当該施設以外になく、喫食メニューに未加熱又は加熱不十分な鶏肉料理があり、患者検便からカンピロバクターが検出されたことから、食中毒と断定した。</p>

※ 参考

単位：件・人

年	発生件数	摂食者数	患者数	死者数
29	1	11	11	0
30	2	17	11	0

(注) 対象は、原因施設が本市内にあるもの又は原因施設が不明で、患者が本市民であるものです。

## 【優秀施設標識の交付】(堺市食品衛生・環境衛生優秀施設標識交付要綱による)

平成29年度交付件数	158件
平成30年度交付件数	151件

## 動物指導センター

### 【狂犬病予防・動物の愛護及び管理事業】

#### ○予防注射（済票）と鑑札交付状況

単位：件

年度	区 分	鑑 札 交 付	注射済票 交 付	鑑 札 再交付	注射済票 再 交 付
29	4月の集合注射	73	2,506	-	-
	委託動物病院	1,922	21,479	-	-
	動物指導センター・保健センター	501	2,128	94	9
	計	2,496	26,113	94	9
30	4月の集合注射	58	2,170	-	-
	委託動物病院	1,992	21,991	-	-
	動物指導センター・保健センター	530	1,813	133	8
	計	2,580	25,974	133	8

※集合注射：市の小・中学校、地域会館等

#### ○飼い犬の引取り状況（警察からの引取りを含む）

単位：頭

年度	区分	引取り頭数			処分頭数	犬死亡数	引取り犬 返還頭数	引取り犬 譲渡頭数
		成犬	子犬	計				
29		41	3	44	13	0	2	31
30		20	0	20	11	0	1	11

（注1）収容犬は年度を越えて飼養されるため、処分頭数と整合しません。

#### ○放浪犬収容状況

単位：頭

年度	区分	収容数			処分頭数	犬死亡数	放浪犬 返還頭数	放浪犬 譲渡頭数
		成犬	子犬	計				
29		5	0	5	1	0	2	1
30		10	0	10	3	0	6	1

（注1）収容犬は年度を越えて飼養されるため、処分頭数と整合しません。

#### ○猫の引取り・収容状況

単位：頭

年度	区分	引取り頭数			傷病猫 収容頭数	処分頭数	猫死亡数	返還頭数	譲渡頭数
		飼い猫	所有者 不明猫	計					
29		0	126	126	29	112	9	1	32
30		32	118	150	33	141	12	1	24

○飼い犬のしつけ方教室・適正飼養講習会開催件数

	実施回数（回）	参加数
飼い犬しつけ方教室	3	34組
犬の適正飼養講習会	1	27人
猫の適正飼養講習会	1	25人

○飼い猫不妊手術費用一部助成事業

補助実施頭数 400頭（3,000円/頭）

○地域猫活動支援にかかる猫不妊手術一部助成事業

補助実施頭数 108頭（8,000円/頭）

○動物愛護フェア

動物愛護週間事業として、9月24日（月/祝）に動物愛護フェアを開催

- ・犬の適正飼養講習会 サンスクエア塚で午前9時45分から11時30分まで  
参加者数 27名
- ・おもしろペット写真展 動物指導センターで午前10時から午後4時まで  
応募作品 78点
- ・動物慰霊碑への献花 動物指導センターで午前10時から午後4時まで  
参加者数 140名

○第一種動物取扱業業種別登録件数

単位：件

	事業所数	登録業種						
		販売	保管	貸出し	訓練	展示	貸りあわせ	譲受飼養
取扱業者	342	172	209	11	33	17	1	0

平成31年3月31日現在

○第二種動物取扱業業種別届出件数

単位：件

	事業所数	届出業種				
		譲渡	保管	貸出し	訓練	展示
取扱業者	7	5	0	0	0	2

平成31年3月31日現在

## ○特定動物飼養保管許可件数

単位：件

	種類	許可件数
鳥類	コンドル	1
は虫類	ワニガメ	4
	ヨウスコウワニ	1
	ボアコンストリクター	2
	インドニシキヘビ	1
	アメリカドクトカゲ	1
ほ乳類	サーバルキャット	2

平成31年3月31日現在



## 環 境 薬 務 課

### ○環境衛生関係施設数、監視指導状況

単位：箇所・件

業種等	施設数	監視指導件数		業種等	施設数	監視指導件数	
		29年度	30年度			29年度	30年度
理容所	619	70	64	専用水道	48	98	107
美容所	1,284	53	52	小規模貯水槽		7	7
クリーニング所	493	55	134	特定建築物	189	71	43
旅館等	88	106	109	動物飼養 (収容)施設	37	11	5
住宅宿泊事業	22		28	死亡獣畜取扱場	1	0	0
公衆浴場	55	177	178	墓地	189	62	61
興行場	15	15	15	納骨堂	17	0	0
遊泳用プール	31	83	74	火葬場	14	12	12
浄化槽	10,360	180	326	温泉利用	12	60	78
簡易専用水道	1,242	43	22				

(注) 施設数は31年3月31日現在の数です。

住宅宿泊事業法は平成30年6月15日施行

### ○医薬品販売業の許可、監視指導状況

単位：箇所・件

区 分	年度	施設数	許可等			監視指導件数
			新規	更新	廃業	
薬局	29	366	25	63	16	323
	30		33	37	25	256
薬局製剤製造販売業	29	77	1	26	4	48
	30		7	6	9	41
薬局製剤製造業	29	77	1	26	4	49
	30		7	6	9	41
薬局製剤製造販売承認	29		1		4	
	30		7		9	
店舗販売業	29	142	11	24	10	121
	30		9	13	6	95
高度管理医療機器等 販売業貸与業	29	415	31	35	30	196
	30		48	26	29	195
管理医療機器販売業 貸与業	29	1,565	71		54	423
	30		120		97	342

(注) 「施設数」は31年3月31日現在の数です。

### ○毒物・劇物販売業の登録、監視指導状況

単位：箇所・件

区 分	年度	施設数	登 録 等			監視指導
			新規	更新	廃業	監視数
一般販売業	29	284	13	50	28	140
	30		12	32	17	176
農業用品目販売業	29	10	0	3	0	10
	30		1	3	1	11
特定品目販売業	29	1	0	0	0	0
	30		0	0	0	1

(注) 「施設数」は31年3月31日現在の数です。

○毒物劇物業務上取扱者

単位：箇所・件

区分	年度	施設数	届出		監視指導	
			新規	廃業	監視数	
法第22条第1項	電気めっき業	7	29	0	0	3
			30	0	0	8
	金属熱処理業	1	29	0	0	1
			30	0	0	1
	運送業	14	29	0	1	5
			30	0	0	5
白あり防除業	0	29	0	0	0	
		30	0	0	0	
法第22条第5項	29				20	
	30				18	

(注)「施設数」は31年3月31日現在の数です。

○特定毒物研究者

単位：人・件

	年度	研究者数	許可等		監視指導
			新規	廃業	監視数
特定毒物研究者	29	7	0	1	3
	30		0	0	7

(注)平成28年度に事務移譲。研究者数は平成31年3月31日現在の数です。

○各区民まつり等における薬物乱用防止啓発事業

	実施内容	参加者数
市内各区民まつり	パネル・薬物標本展示、リーフレット等の配布、クイズ開催、啓発映像放映	3,997人
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン	啓発リーフレット等の配布	2,000部(※)

(※)『「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン』にて配布した啓発リーフレットの部数です。

○市内学校等への薬物乱用防止啓発資料の提供及び貸出

	リーフレット		小学生向け冊子		中高生向け冊子		危険ドラッグ ちらし	
学校	14校	2,470部	31校	3,167部	9校	2,377部	16校	2,222部
その他	9件	1,339部	1件	40部	2件	87部	7件	239部

	大麻リーフレット		啓発DVD等	啓発パネル	薬物標本
学校	12校	2,165部	5校	2校	3校
その他	8件	950部	3件	0件	0件

○苦情、相談状況

単位：件

内 容	年度	営業施設 関係	動物飼養 (収容)施設 等関係	浄化槽 関係	水道 関係	特建 関係	住居衛生 関係
苦情、相談	29	673	5	92	95	31	12
	30	779	8	57	13	22	8

内 容	年度	墓地等関係	薬事関係	毒劇関係	その他
苦情、相談	29	166	265	24	148
	30	151	305	86	548

○講習会開催状況

単位：回・人

対 象	営業者				市 民	
	関係施設営業者 講習会		薬事及び 毒劇講習会		学生講習会	
年度	29	30	29	30	29	30
開催回数	8	6	18	6	3	3
参加人数	828	791	1,352	34	68	81

○優秀施設標識の交付 (堺市食品衛生・環境衛生優秀施設標識交付要綱)

単位：件

平成 29 年度交付件数	152
平成 30 年度交付件数	143

# 生活衛生センター

## 【衛生害虫などの指導啓発及び防除駆除事業】

○衛生害虫などに関する相談状況

単位:件

区分 年度	相談受付	処 理 内 容 内 訳			
		指導啓発	駆除処理	機材貸出	地域住民による蚊防除活動
平成29年度	2494	1847	67	14	566
平成30年度	2140	1547	28	17	548

○種類別相談受付件数

単位:件

目 名	種 類	平成29年度	平成30年度	目 名	種 類	平成29年度	平成30年度
双翅目	アカイエカ・ユスリカなど	773	677	ゴキブリ目	クロゴキブリなど	29	19
膜翅目	スズメバチなど	1078	945	クモ目	セアカゴケグモなど	221	105
鱗翅目	チャドクガなど	21	18	ダニ目	チリダニなど	26	16
半翅目	マルカメムシなど	42	12	その他	ネコノミなど	297	337
オオムカデ目	トビズムカデなど	7	11	計		2494	2140

○種類別相談による駆除処理件数

単位:件

区分 年度	スズメバチ	アシナガバチ	ミツバチ	その他	計
平成29年度	52	15	0	0	67
平成30年度	25	3	0	0	28

(注) 1. ハチの駆除は原則公共地とし、私有地については不特定多数に危害が及ぶ可能性がある場合のみ対応している。  
 2. 土・日・休日(9:00~17:00)及び平日(17:30~19:00)のハチ相談業務については、委託業者が対応している。

○機材別貸出し状況

単位:件

機 材 名	平成 29年度	平成 30年度	機 材 名	平成 29年度	平成 30年度
小型動力噴霧器	2	1	手押蓄圧式噴霧器	0	0
バッテリー式背負噴霧器	0	0	その他 (アシナガバチ防護服)	1	0
ネズミ捕獲籠	11	16	計	14	17

(注) 小型動力噴霧器・バッテリー式噴霧器は市の機関にのみ貸出している。

○住居環境改善援助事業の概要と実施状況

対 象 世 帯	実 施 方 法	実 施 内 容	実 施 件 数
①生活保護世帯又は市民税非課税世帯で、高齢、障害などの理由により、日常生活における自立が困難な40歳以上の単身者世帯 ②生活保護世帯又は市民税非課税世帯で、高齢、障害などの理由により、日常生活における自立が困難な40歳以上の者のいる世帯で、何らかの事情により、住居の改善が困難な世帯 ③その他良好な住居環境確保のために、特に市長が事業を実施する必要があると認める世帯	対象者の同意に基づき、保健福祉総合センター所長の依頼により実施	衛生害虫などの駆除	平成 29年度
			0件
			平成 30年度
0件			

(注) 平成26年4月1日要綱の一部を改正(実施方法・実施内容)

○浸水に対する消毒業務

平成 29年度		平成 30年度	
実施日	実施件数	実施日	実施件数
H29.10.24	1件	H30.7.11	1件

○感染症媒介蚊類の捕獲調査

感染症媒介蚊による感染症の蔓延を未然に防止するため、感染症対策課主管のもと、衛生研究所と協同し、市内に分布する蚊の生息状況並びに感染症病原体保有状況などを調査している。

○セアカゴケグモ生息実態調査

平成30年度

区	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	全市
調査地点数	51	38	22	61	86	33	29	320
生息確認地点数	38	24	5	21	68	21	22	199
生息率	75%	63%	23%	34%	79%	64%	76%	62%

※ セアカゴケグモは、堺市内はもとより国内各地で生息が確認されており、

現在は自然界に定息している虫となっているため、平成30年度末で調査を終了した。